

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

|                 |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいえ | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|-----------------|----|---|----|--------------|-----|---|
| 環境・<br>体制<br>整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | ○  | ○            |     | 活動内容によっては狭いと感じることもあるが、概ね適切だと思う。   |
|                 | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |              |     | 保育士以外は全員リハ専門職であり、人数的にも十分確保できている。  |
|                 | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | ○  |              |     | 事業所がある施設は、障がい者にも配慮し、バリアフリー化されている。   |
| 業務<br>改善        | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか                | ○  |              |     | ミーティング時に、課題の改善に向けて検討をしている。新しい仕組みづくりや、療育の質の向上に向けては、特に職員が積極的に意見を出し合っている。                    |
|                 | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |              |     |   |
|                 | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | ○  |              |     |   |
|                 | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    | ○            |     | 外部評価は行っていないが、外部の特任講師2名に毎月お越しいただき、療育方法や保護者支援等について助言をいただきながらサービスの向上に努めている。                  |
|                 | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |              |     | 積極的に外部研修へ参加している。また、全職員がティーチャーストレーニングを受講するようにしている。施設内では、動画視聴による研修受講がいつでもできる仕組みになっている。      |
| 適切<br>な         | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |              |     | 施設内では、OT、PT、保育士によるアセスメントを行なっている。また、保育所からのアンケートや同法人であるもみのき病院で実施した検査結果もふまえ児童発達支援計画を作成している。  |
|                 | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                 | ○  |              |     |   |
|                 | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |              |     | 関わる全ての職員で、現状の確認やプログラムの検討を行っている。   |
|                 | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |              |     | 毎回、スタッフ間でプログラム内容について検討を行い、工夫している。<br>計画書の内容を軸に、お子さんが意欲的に取り組めるよう工夫し、目的や配慮することなども事前に確認している。 |
|                 | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ○  |              |     | 長期休暇は比較的時間が確保できるため、お子さんの療育内容は平日よりも多く準備している。また、季節感を取り入れるなども配慮している。                         |

|              |  |  |   |   |  |
|--------------|--|--|---|---|--|
| 支援の提供        | 14   | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか                       | ○ |   | 個別でのプログラムと集団での活動を組み合わせて計画している。トレーニングはお子さんの能力や状態に合わせて個人対応している。集団活動では、友達関係やコミュニケーション面の支援を中心に行っている。 |
|              | 15   | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                        | ○ |   | 集団活動の場合も、お子さんに個別でスタッフが対応できるように事前に役割分担している。また、支援内容についても打ち合わせをしている。                                |
|              | 16   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                   | ○ |   | 対応しているスタッフ同士で、子どもの情報共有を行っている。療育場面をビデオに撮影し、後日、動画を確認しながら意見交換をしている。専門性が違うそれぞれの視点を共有し、支援の質の向上に努めている。 |
|              | 17   | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                               | ○ |   |  |
|              | 18   | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                              | ○ |   | 計画の変更が必要な状況であれば、見直しの時期でなくても会議を開催し、計画の見直しをしている。   |
|              | 19   | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか  | ○ |   |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | ○ |   |  |
|              | 21   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ |   | 必要時に学校へ連絡し、確認している。   |
|              | 22   | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | ○ |   | 現在、該当者はいない。  |
|              | 23   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | ○ |   | 就学前に利用していた園等とは直接連絡はとっていない。保護者からの聞き取りや、同法人のきみのき病院から就学前の情報を得ている。                                   |
|              | 24   | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | ○ |   | これまで該当者なし。   |
|              | 25   | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | ○ |   | 児童発達支援センター等、他機関からの訪問で助言を受けている。   |
|              | 26   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                 | ○ |   | イベント等で交流の場を計画している。   |
|              | 27   | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか   |   | ○   | 会議内容は議事録等で確認している。  |
|              | 28   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | ○ |   | 利用後は毎回、保護者とお話しする機会があり、情報共有する場がある。  |
| 29           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか |  | ○ | 来年度は、ペアレントトレーニングを実施したい。必要時に、ペアトレの手法を説明している。 |  |

|            |                                     |   |   |   |   |                       |  |
|------------|-------------------------------------|---|---|---|---|-----------------------|--|
| 保護者への説明責任等 | 30                                  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○ |   |   |                       |  |
|            | 31                                  | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                       | ○ |   |   | 相談支援や利用後に対応するようにしている。 |  |
|            | 32                                  | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                                   |   |   | ○ |                       |  |
|            | 33                                  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | ○ |   |   |                       |  |
|            | 34                                  | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               |   |   | ○ |                       | 必要時に対応しており、定期的ではない。来年度は定期的に実施したいと考えている。  |
|            | 35                                  | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |   |   |                       |  |
|            | 36                                  | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | ○ |   |   |                       | お子さんに対しては、言語聴覚士の評価をもとに、意思疎通や情報伝達に必要な配慮をしている。保護者に対しても、実際の場面で説明する、写真や絵で見せる、文字で示すなど、理解しやすい方法を選んで対応している。 |
| 37         | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか |   |   | ○ |   | コロナ感染症のため難しかった。       |  |
| 非常時等の対応    | 38                                  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | ○ |   |   |                       |  |
|            | 39                                  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ |   |   |                       |  |
|            | 40                                  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ |   |   |                       | 定期的に行えるよう年間計画に入れるようにしている。  |
|            | 41                                  | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ |   |   |                       | 身体拘束の事例を予想して話し合いをしているが、まだ発生していない。  |
|            | 42                                  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | ○ |   |   |                       | 該当する利用者はいないが、確認は行っている。   |
|            | 43                                  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ |   |   |                       |  |